

(令和4年3月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	3月の総入荷量は、冬季の冷え込みにより生育が停滞していた品目で回復がみられたものの、気温変化が激しく不安定な入荷となったため、前年同月比で7%下回った。 総取扱金額は、キャベツやレタス、たまねぎ等が品薄により高値で推移したため、5%上回った。今後は気温上昇により生育は回復傾向に向かい、安定した入荷が見込まれる。 4月は、近郷野菜では、たけのこや木の芽が最盛期を迎え、きゅうりやとまと等の果菜類が増える。果実では、不知火（デコポン）が終盤を迎え、いちご類が減少傾向となる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は16%上回った。 根菜類の入荷量は冷え込みの影響等により生育が停滞したため前年同月比で15%下回ったが、単価は需要が低かったため4%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は36%上回った。 果菜類の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。 土物類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は30%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は7%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は5%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で19%下回り、単価は39%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で10%上回り、単価は15%下回った。 メロン類の入荷量は気温上昇により生育が進んだため前年同月比で3%上回ったが、単価は需要が高かったため8%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん 【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス 【果菜類】 きゅうり	鹿児島，長崎，徳島，滋賀，神奈川などから入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り，単価は４７％上回った。 徳島，鹿児島を中心に愛知，長崎，熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回ったが，単価は需要が低かったため５１％下回った。 長崎を中心に兵庫，滋賀，熊本，鹿児島などからも入荷した。入荷量は不安定ながらも気温上昇により生育が進んだため前年同月比で１３％上回ったが，単価は需要が高かったため３９％上回った。 愛知を中心に和歌山，滋賀，大阪，兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り，単価は９９％上回った。 福岡，京都，茨城，滋賀，静岡などから入荷した。入荷量は気温上昇により生育が進んだため前年同月比で７％上回ったが，単価は需要が高かったため１２％上回った。 兵庫，長崎，徳島を中心に岡山，茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１９％下回り，単価は７１％上回った。 宮崎を中心に高知，滋賀，佐賀，徳島などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％上回り，単価は９％下回った。

なす	高知を中心に岡山，京都からも入荷した。入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。
とまと	熊本を中心に福岡，三重，佐賀，京都などからも入荷した。入荷量は気温上昇により安定した入荷となり前年同月比で５％上回ったが，単価は前年同月並みであった。
ピーマン	宮崎，高知を中心に茨城，韓国，鹿児島などからも入荷した。入荷量は下旬にかけて入荷減となったため前年同月比で５％下回ったが，単価は前年同月並みであった。
【土物類】 ばれいしょ （メイクイン含む）	北海道，鹿児島から入荷した。入荷量は北海道産の入荷減により前年同月比で１０％下回ったが，単価は高値で推移した前年同月と比べて３０％下回った。
たまねぎ	北海道を中心に長崎，静岡，兵庫，佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１４％下回り，単価は１６０％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に香川，大分からも入荷した。入荷量は作柄不良のため前年同月比で２１％下回ったが，単価は前年同月並みであった。
伊予かん	愛媛を中心に和歌山からも入荷した。入荷量は作柄不良のため前年同月比で１７％下回ったが，単価は前年同月並みであった。
はっさく	和歌山を中心に広島，徳島，長崎，滋賀からも入荷した。入荷量は品質低下等により前年同月比で３０％下回ったが，単価は前年同月並みであった。
不知火（デコポン）	和歌山を中心に愛媛，佐賀，香川，福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回り，単価は３％上回った。
サン富士	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は３８％上回った。
いちご	福岡，大分，熊本，長崎，佐賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で１０％上回り，単価は１５％下回った。
アールスメロン	静岡を中心に高知，ホンジュラスなどからも入荷した。入荷量は気温上昇により生育が進んだため前年同月比で４％上回ったが，単価は需要が高かったため８％上回った。